

### 医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学基礎病理学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年9月 福島県立医科大学 学長 竹之下誠一

福島県立医科大学医学部基礎病理学講座 千葉 英樹

【研究課題名】 悪性黒色腫新規バイオマーカーおよび治療標的分子の探索

【研究期間】 2022年9月～2027年3月

#### 【研究の意義・目的】

本研究では皮膚科で扱う悪性腫瘍のうち、悪性黒色腫を対象とします。医学の進歩と共にかんの治療成績は向上していますが、手術困難例や再発例に対する治療法は限定的で、新規治療法や難治例を予測するためのバイオマーカーの探索が望まれる状況にあります。私どもはこれまでに、膵臓がんや婦人科がんの予後予測マーカーや新規治療標的を発見してきました。同様の方法論で悪性黒色腫の予後予測バイオマーカーが開発できれば、予後不良と予測される患者さんに対しては術後放射線化学療法など強度が高く侵襲的な追加治療を実施し、一方で予後良好と予測される患者さんに対しては経過観察のみとするなど、個人個人に最適化された治療法を選択する個別化治療の発展に寄与することができます。また予後不良を予測するバイオマーカーは同時に悪性黒色腫の生存や増殖などの悪性形質増強に機能する分子である可能性もあり、新規治療標的としても期待されます。

#### 【研究の対象となる方】

- ・対象者1： 1991年1月から2017年12月の間に本学附属病院において悪性黒色腫に対する手術治療が施行され、その組織標本が福島県立医科大学附属病院皮膚科にホルマリン固定パラフィン包埋ブロックで保存されている患者さんを対象とします。
- ・対象者2： 2019年1月から2021年12月の間に福島県立医科大学附属病院で病理解剖が実施され、そのホルマリン固定パラフィン包埋ブロックとして標本が保存されている患者さんを対象とします。

#### 【研究の方法】

- ・癌に関する情報が集積されたデータベースから悪性黒色腫のバイオマーカーとして有用であると考えられた分子に対するモノクローナル抗体を開発し、患者さんの手術標本で検出します。その結果と、手術時の進行期や患者さんの生存期間とを照らし合わせて統計解析し、マーカーとしての有用性を検証します。また正常組織における目的分子の分布を評価するため、解剖症例の臓器を同様に染色して評価します。

**【研究組織】**

**研究責任者**

福島県立医科大学医学部基礎病理学講座 教授 千葉 英樹

**研究分担者**

福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座	助手	小林 靖幸
福島県立医科大学医学部基礎病理学講座	講師	杉本 幸太郎
福島県立医科大学医学部基礎病理学講座	助教	小林 信
福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座	教授	橋本 優子
福島県立医科大学医学部皮膚科学講座	教授	山本 俊幸
福島県立医科大学医学部皮膚科学講座	准教授	大塚 幹夫
福島県立医科大学医学部皮膚科学講座	助教	猪狩 翔平

**<共同研究機関>**

なし

**【本研究に関する問い合わせ先】**

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
公立大学法人福島県立医科大学医学部基礎病理学講座 担当 小林 靖幸  
電話:024-547-1169 FAX:024-548-7151  
E-mail:yasu-ko@fmu.ac.jp

**【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】**

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
公立大学法人福島県立医科大学医学部基礎病理学講座 担当 小林 靖幸  
電話:024-547-1169 FAX:024-548-7151  
E-mail:yasu-ko@fmu.ac.jp